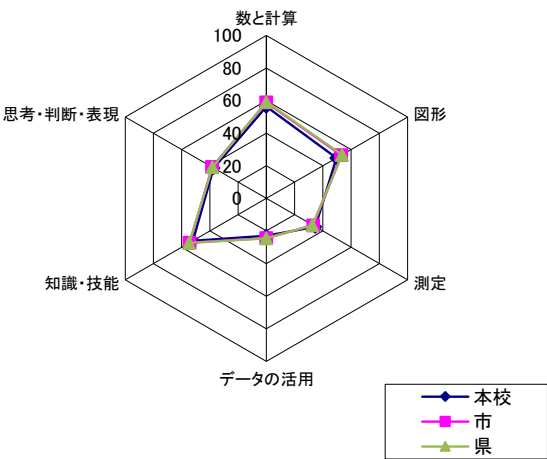


宇都宮市立宝木小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	56.3	58.9	59.2
	図形	49.6	53.0	53.7
	測定	34.7	33.1	32.6
	データの活用	22.9	24.4	24.6
観点	知識・技能	52.1	54.3	54.7
	思考・判断・表現	37.4	38.5	38.3



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は、県の平均と比べて低い。 ○分数の表す正しい大きさを答える設問の正答率は86%で、市や県の平均よりも8ポイント以上上回った。 ●2桁×1桁＝3桁の計算をする設問の正答率は64.5%で、市の平均より8.4ポイント、県の平均より10.5ポイント下回った。	・繰り上がりや繰り下がりのある計算や九九など基礎的な計算が定着するよう、朝の学習の時間を活用して復習したり、AIドリルで当該学年以前の学習にも取り組んだりするようにする。 ・文章問題や計算のしかたを説明をする問題に苦手意識をもつ児童が見られるので、文章から立式に必要な数や言葉を見つけて印を付けたり、計算の仕方をノートに説明したりすることを日頃の授業の中で行うようにする。
図形	平均正答率は、県の平均と比べて低い。 ○円の性質を利用して正三角形を作図する設問の正答率は、市や県の平均より6ポイント以上上回っているが46.3%と低い。 ●二等辺三角形の性質を理解しているかどうかをみる設問の正答率は61.2%で、市の平均より8.5ポイント、県の平均より6.9ポイント下回った。	・図形の性質について定着するよう朝の学習の時間を活用して、表にまとめたり比べたりする学習に取り組むようにする。 ・基本的な図形の性質を活用して考える文章問題や発展問題に慣れるよう、朝の学習の時間を活用してAIドリルやプリント学習などに取り組むようにする。
測定	平均正答率は、県の平均と比べて高い。 ●時間と時刻を理解し、時間を求める設問の正答率は41.3%で、市の平均より7.1ポイント、県の平均より6.1ポイント下回った。 ●重さの単位を理解し、合計の重さを比較する設問の正答率は21.5%で、市の平均より4.8ポイント、県の平均より5.3ポイント下回った。	・重さの単位を変換できるよう、朝の学習の時間等を活用して、表にまとめて復習する。 ・日常生活と関連付けて理解できるよう、体験的な学習を取り入れた授業を行うようにする。
データの活用	平均正答率は、県の平均と比べて低い。 ●メモリの付け方が異なる2つのグラフの数の比べ方について説明する設問の正答率は市や県の平均とほぼ変わらないが、24%と低い。 ●適切な棒グラフから示された値を読み取る設問の正答率は12.4%と低く、市や県の平均を2.5ポイント以上下回った。	・グラフの特徴や利点を理解し説明できるよう、日頃の授業から自分の言葉で書く機会を設けるようにする。また、新聞づくりやアンケートの集計など自分でグラフを作り、分析するような機会を設定し、知識や技能の定着を図るようにする。